

## 地域交流スポーツ祭 序盤の2種目を終えて 優勝チームにその秘訣を訊く

5月19日(日)にシーガルドーム行われた総合開会式での選手宣誓  
力強い宣誓から今年度の地域交流スポーツ祭がスタートしました



### ■今年度の地域交流スポーツ祭 序盤の2種目の大会での優勝チーム

日程	種目	記録	チーム
5/19(日)	玉入れ	優勝&最短時間賞	小川第11自治会
6/30(日)	ファミリーバドミントン (男女混成の部)	Aブロック 優勝	焼津第1自治会
		Bブロック 優勝	大富第18自治会
		Cブロック 優勝	港第14自治会 小川第12自治会
		Dブロック 優勝	小川第11自治会
		Eブロック 優勝	焼津第5自治会
	ファミリーバドミントン (シニアの部)	Fブロック 優勝	大富第19自治会
		Gブロック 優勝	港第23自治会
		Hブロック 優勝	小川第12自治会
		Iブロック 優勝	豊田第9自治会
		Jブロック 優勝	大井川西自治会

# 優勝チームに訊く!!

元号が平成から令和に替わった5月、第39回目となる焼津市地域交流スポーツ祭がスタートしました。

今年度は、競技種目が見直され、玉入れ、ファミリーバドミントン、室内パタンク、ワンバウンドぶらぶら、メディシンボールの全5種目で総合優勝を競うことになりました。今回のみんなのスポーツでは、序盤の2種目（玉入れ、ファミリーバドミントン）で優秀な成績を収めた自治会から、その秘訣を伺いました。

## ■豊田第9の自治会

### ファミリーバドミントン・フロック優勝

体育委員長 山内 恵三

「ファミリーバドミントンは楽しむが一番」

9自治会では、地域交流スポーツ祭の1ヶ月位前に自治会の中で町内会対抗のファミリーバドミントン大会を行います。

町内会対抗大会は、試合を通じて親睦を深める主な目的として行なっていますが、ファミリーバドミントンは初心者でも楽しめ熱が入ります。町内会対抗大会で上位チームを中心に、地域交流スポーツ祭のメンバーを決め、経験者や初心者が大会に向けて一緒に練習をします。

私はシニアチームの監督になっていましたが、私自身体を動かすことは好きですが、スポーツは苦手な方で、技術面での指導はできないので、プレーでの失敗は笑い飛ばし、うまくできたプレーを褒め、皆が楽しくできる明るいチームを作るよう心がけてやってきました。その結果、チームはブロック優勝することができました。今回ブロック優勝できたのは、チーム力のおかげだと思っています。

誰でも手軽にプレーできるファミリーバドミントンを皆様と一緒に永く楽しみたいですよ



ファミバドは楽しむが一番!

## ■小川第11自治会

### 玉入れ 優勝&最短時間賞

### ファミリーバドミントン・フロック優勝

スポーツ推進委員 長澤 志俊

先日の室内パタンク大会の結果、我が11自治

会は1位と9点差の5位に沈み、総合優勝7連覇に黄色信号が灯りました。

パタンク上達のコツは何?とよく聞かれますが、私は一言、『メンタルです』というも答えるようにしています。焼津小川に引越してきてから二十数年経ちますが、その土地柄というか人柄について感じるのは、「純朴さ」であり、これは焼津市にいられた方々が抱く第一印象と似ています。その純朴さ故に、パタンクのように対戦相手の嫌がる投球をしたり、ボールを押し返けたりする行為には、基本不向きなのかなあと思ったりします。故に玉入れや11月に控えるメディシンのようなシンプルに速さを競う競技には合う土地柄なのかなとも思います。

そうすると、おいちょっど待て!!ファミリーバドミントンは手の届かない所に落とすとか、苦手な方向に打つ競技じゃないか!!矛盾してない!!と叱られそうですね(笑)。

確かにそれらも必要ですが、それだけでは勝てません。今回出場した選手たちも、部活動でのバドミントン経験者は1人も居ませんでした。ただ純粹に必死に、相手のコートにシャトルを返し続けた結果が、この優勝に導いた最大の要因だと思います。

玉入れも然り。名コーチの指示通りの動きを愚直に繰り返すことで、優勝を勝ち取ることが出来ました。

正直者は報われる!これこそが地域交流種目、勝利の第一法則です。



今大会最速！驚異の 32.4 秒!!

## ■小川第12自治会

ファミリーバドミントンCブロック優勝

Hブロック優勝

体育委員長 松永 淳

現在、玉入れとファミリーバドミントンの2種目を終え、総合順位でたまたま1位になっていますが、それは、この自治会のシニアの方々が元氣よく頑張って活躍してくれていることが大きな要因です。これも長年に亘り薫科さんがスポーツ推進委員としてリーダーシップを発揮して、シニア層を盛り上げてきてくれたことが実を結んだ結果だと考えています。

また、体育委員のみんなが楽しんでやってくれ

ていることも好成績につながっていると考えます。普段からSNSを通じてコミュニケーションを図り、いろんなイベントを企画、実行して楽しんでいきます。体育委員の仕事を目で嫌な事と捉えず、いかに楽しむかと考えれば自然と場の雰囲気や良くなり、それがこのような好成績に繋がったんだと思います。

「勝つことよりも楽しむこと」を優先してきたことが、現時点で1位という結果に現れてきたと思います。

## ■大富第19自治会

ファミリーバドミントンFブロック優勝

体育委員長 村松 克彦

大富第19自治会は、シニアの部Fブロックにて第1位の成績をおさめることができました。

大会1ヶ月前から週1回程度の練習ですが、選手みんな楽しんでみながら技術を磨き、一つ一つのプレーに称賛あり、罵声（笑）あり、互いに声を掛け合って築き上げたチームワークの成果です。自治会や体育委員のサポートも心強い後押しになったと思います。あとは、ブロックや対戦相手が決まる「抽選」も勝敗の行方を左右するのでブロック戦のおもしろいところであり、難しいところでもあります。

とにかく「みんなでスポーツを楽しむこと」ですが、日頃の行いによって多少運を味方につけることもブロック優勝への秘訣なのかもしれま

せんね。皆さん、お疲れ様でした！



運も味方につけ、楽しんだ結果です

## ■港第23自治会

ファミリーバドミントンGブロック優勝

体育委員 山梨 友輔

◆練習 港23自治会のファミリーバドミントンの練習は、大会前の月に体育館で5回程行っています。選手は毎年の大会に出場して下さる常連の方が多いです。

練習では特別なことはせず、試合形式のラリー戦を行い、選手もシニア、一般と固定せずに和気あいあいと毎回楽しく練習しました。

◆試合 優勝する事が出来た理由はシニア、一般共々に選手同士の仲が良い事だと思っています。港23自治会は、参加した全自治会の中で一番選手同士の仲が良く、楽しくスポーツに取り組んでいると自負しています。特に試合では選手同士が笑顔で応援しあっていて、我が自治会ながら「楽しそうにやってるなあ」と感心してしまいます。逆にこれが相手チームだったら、すごくやりのいらいなあとも思います。得点を決めた選手を笑顔で称え、失敗した選手にも「ドンマイ、次に行こう!」とマイナスの発言をしないのも



楽しい雰囲気づくりも優勝への大切な要因

チームの雰囲気良くなる要因だと思っています。試合はわりと接戦になる事が多く、見ているこちらでもハラハラしてしましますが、接戦で負けてしまっても悔しい気持ちになったり、勝って喜びことをシニア、一般に関わらずチーム全員で共有できる素晴らしいチームだと思います

## ■大井川西自治会

### ファミリーバドミントン・Jブロック優勝

つつじ平体育委員長 勝治 清

「地域交流スポーツ祭・ファミリーバドミントン大会」という大きな大会で、シニアの部に出場し、自治会メンバーのまとまりで、見事に「Jブロック優勝!」という栄誉は、自治会の皆様の今後の大きな励みとなり、高齢化が進む地域の元気を湧き起こす良い機会となりました。

しかしながら、チーム作りから優勝するまでの過程は必ずしも楽なものではありませんでした。まず、チーム編成のための選手集めは「募集チラシ」の回覧からでした。6町内35の各組に回覧したところ、集まった出場希望者は何と4名のみ。折れそうな気持ちを奮い起こし、役員が協力して電話作戦を展開。前年参加選手や町内の知り合いに参加要請を行い、何とか人数を確保、前年の監督も再び快く受けてくれて試合に臨む態勢ができました。

そこから監督と役員とで練習日程を話し合い、

夜間に練習を4回行いました。ルールからサーブのやり方、動き方などを習い、夜が深まるのも忘れるほど全員が真剣に練習に取り組んでくれました。

練習を重ねていくうちに、全体の「和」と「やる気」が生まれ、チームワークも良くなり、失敗しても自然と誰かがフォローをする。いつしか、寄せ集めのチームが一つになり、目標に挑戦する素晴らしいチームに大変身したように感じました。

こうして一人ひとりの努力と、監督の「今年は勝ちにいこうぞ!」の一言が、目標に向かってチームワークで臨むことを確認できたことが、良い結果に繋がったものと思っています。



ブロック優勝は、地域の元気を湧き起こします